参考

「中国地域経済の概況 2026」の記載内容（主な項目）

＜Ⅰ　経済の概況＞

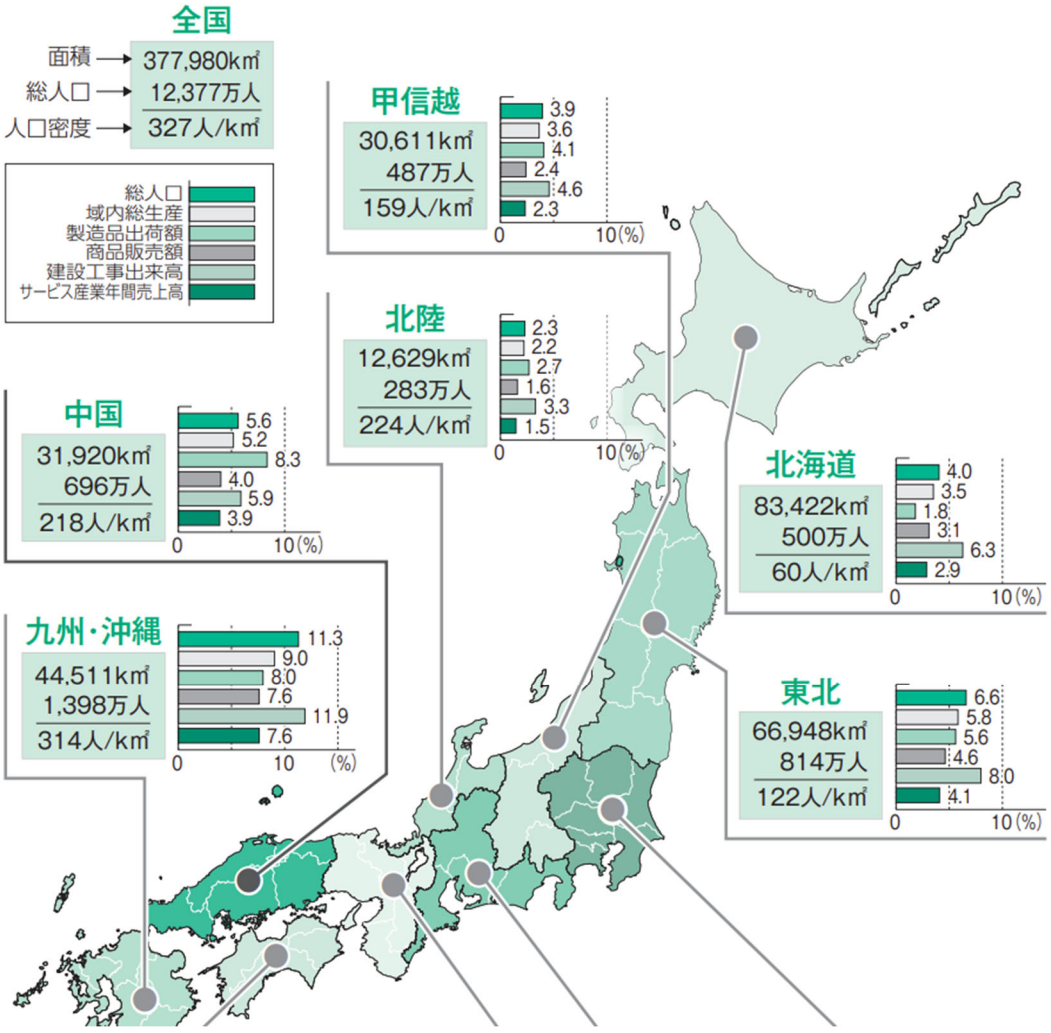
○2025 年の中国地域経済

2025 年の中国地域経済は、米国の通商政策や物価上昇が下押し要因となる一方、設備投資等の内需に支えられ、景気は緩やかに持ち直した。

○中国地域経済の特徴

中国地域の人口・経済規模の全国シェアは５％台であるものの、製造品出荷額は８％を超えており、ものづくりの拠点となっている。

【地域別の地域経済指標の全国シェア（一部抜粋）】



（注）枠内は、上段：面積、中段：総人口、下段：人口密度

資料：国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査」、内閣府「県民経済計算」、国土交通省「建設総合統計」

＜Ⅱ　分野別の概況＞

○人口

2025 年の人口動態をみると、自然増減（出生－死亡）のマイナス幅が拡大したことなどから、人口の減少率は 1995 年以降で最大となった。中国地域からの転出超過数は、コロナ禍で行動制限等のあった 2020 年に一時的な減少がみられたものの、2021 年以降は再び拡大傾向にある。

○観光

2025 年の中国地域の外国人延べ宿泊者数は、円安の影響や国際航空路線の再開・拡充等を背景に 292 万人泊（前年比 22.8%増）となり、過去最高を記録した。外国人宿泊者の地域別構成比をみると、欧米豪 9 カ国（アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、オーストラリア）が 38.0%を占め、全国（25.8%）を大きく上回っているのが特徴である。

＜Ⅲ　地域振興の概況＞

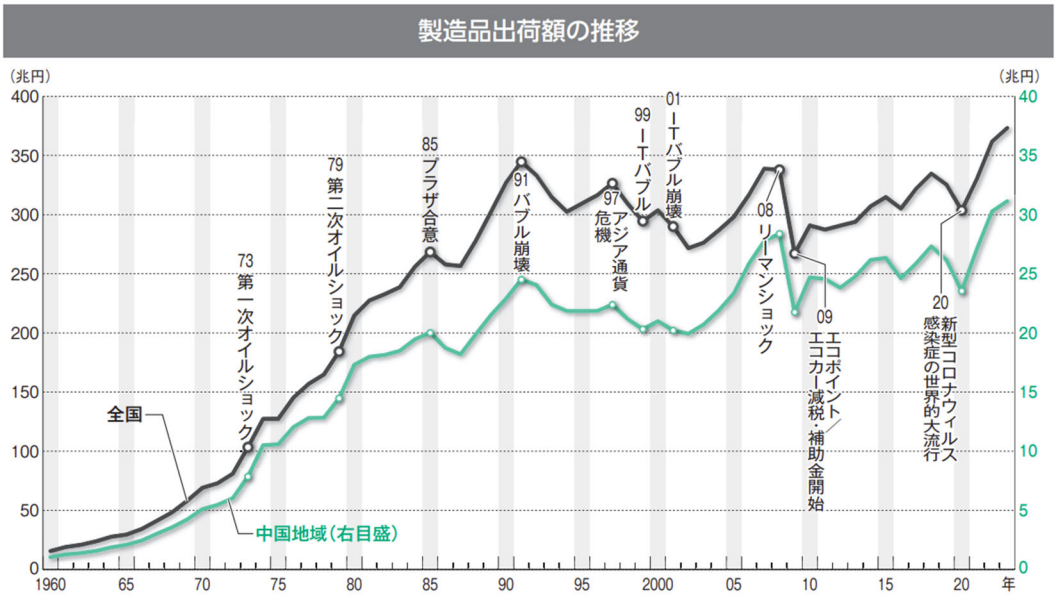
○都市機能整備

広島駅南口の再整備が進展しているほか、福山市では 2033 年の完成に向けた駅前広場の再整備計画が策定されるなど、利便性・回遊性の向上を目指した駅前機能の強化が進んでいる。

また、岡山市、山口市、松江市では、歴史・景観・環境に配慮した新庁舎が完成・供用を迎えるなど、中国地域各地で都市機能の高度化が進んでいる。

＜Ⅴ　グラフで見る中国地域の長期推移＞

人口、経済・産業など主要統計について、長期的な経年変化をグラフで示している。



（注）全事業所ベース（要件を満たした従業者数３人以下の事業所を含む）
資料：経済産業省「工業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」「経済構造実態調査」

以　上